

2017.3.28

平成28年度 上小圏域自立支援協議会『就労』専門部会報告

部会長：上田市障がい者支援課係長

副部会長：上田公共職業安定所

専門援助部門雇用指導官

事務局担当：上小圏域障害者総合支援センター

1. 平成28年度『就労』専門部会の検討（研究）テーマの方向性

～障がい者の「働く」を支える体制づくり～

- ① 就労移行アセスメントの実施状況の共有と活用の促進。
- ② 平成30年の法定雇用率引き上げに向けて雇用促進。
- ③ 精神障がい者の就労支援について、医療機関との連携のあり方を検討

2. 開催報告

【参加者】 上田市障がい者支援課、上田公共職業安定所、長野県上田保健福祉事務所、長野県上田養護学校、長野県佐久地方事務所商工観光課、長野県佐久技術専門校、東御市健康福祉部福祉課、長和町町民福祉課、長野大学キャリアサポート課、医療法人友愛会ピアちくま、長野県厚生農業協同組合連合会鹿教湯三才山リハセンター、かりがね福祉会希咲館・OIDEYOハウス、ちいさがた福祉会さんらいずホールらくどう、樫の木福祉会ぶらっと、エリスン舞田館、和楽座和裁舎、ウォームブランケットリズム、ワンズ上田、上小圏域障害者就業・生活支援センターSHAKE

第1回

【開始日時】 平成28年5月26日（木） 13：30～16：00

【協議事項】 開催計画について

- ・就労移行支援アセスメント研究会（研究会7回・研修会1回）
- ・雇用促進セミナー（企業セミナー）（1回）
- ・ミニ面接会（上田市小県2回・東御市1回）
- ・精神科医療機関とハローワークのモデル事業（定員10名6ヶ月×2期）

第2回

【開始日時】 平成28年10月4日（木） 13：30～16：00

【協議内容】 各ワーキング中間報告

第3回

【開始日時】 平成29年2月27日（月） 13：30～16：00

【部会内容】 各ワーキング活動報告 【以下に記載】

各ワーキング活動報告

○就労移行アセスメント研究会

研究会長：さんらいずホール施設長

【参加者】 長野県上田養護学校、(社福) ちいさがた福祉会さんらいずホールらくどう、(社福) かりがね福祉会希咲館・OIBEYO ハウス、(社福) 樫の木福祉会ぶらっと、NPO) エリスン舞田館、(株) 和楽座和裁舎、(株) ウォームブランケットリズム、(株) ワンズ、上田市障がい者支援課、上小圏域障害者就業・生活支援センターSHAKE

【開催日時】

第1回 平成28年6月28日(火) 13:30

第2回 平成28年8月28日(金) 13:30

第3回 平成28年11月1日(火) 13:30

第4回 平成28年12月1日(木) 13:30

第5回 平成29年1月27日(金) 13:30

※研修会 平成29年2月11日(土) 13:00 於：長野大学

第6回 平成29年2月14日(火) 13:30

【協議内容】

- ・平成28年度上田養護学校対象生徒の進捗状況の共有及び情報交換
- ・研修会開催に向けた調整事項等

※研修会内容

主旨 上小圏域のTTAP実践活用における取組から実践報告を通し、就労支援事業所の取り組みを共有する機会にすると共に、他圏域の就労アセスメント報告から実践と現状を知る。また長野大学社会福祉学部学生にも公聴頂き、現在の就労支援状況を知ってもらう機会にすると共に、実際に本学で学ぶ障がいのある学生の生の声を聴き、直面する生きづらさ等を見聞することで就労支援のヒントを掴む。また、将来福祉職を目指す学生の学びの場にする。

主催 長野県上小圏域就労支援部会 アセスメント研究会

後援 NPO 法人障がい者雇用支援ネットワークながの

参加者 就労移行支援事業所／就労継続B型事業所／生活介護事業所／市町村／相談支援事務所
／県立高等学校／長野大学在校生／障害者総合支援センター 42名

開催内容

- 1、TTAPを活用した実践報告(1) (社福) かりがね福祉会・希咲館より
- 2、TTAPを活用した実践報告(2) (社福) ちいさがた福祉会・らくどうより
- 3、就労継続B型事業所からの一般就労への取り組みについて
(社福) 長野市社会事業協会 長野市ななせ仲まち園より
- 4、長野大学社会福祉学部 端田ゼミ報告 准教授 端田 篤人

成果

上小圏域就労支援事業所含む42人が聴講し、盛大に研修会を開催することができました。また、今回は新たな取り組みとして、長野大学にも全面的にご協力を頂き、障がいを持つ学生の生の声を聴くことができ、当事者の寄り添った支援の基本的姿勢を再確認することができたと思います。当日の質疑応答では、制度の役割的分担の確認。相談支援機関との連携方法。TTAPの具体

的なアセスメントの内容。などの質問も出され感心の高さが伺えます。

今回の研修会は、上小圏域が先駆的にアセスメントの重要性を訴えてきた。そして、その技法を習得し就労支援機関で共有し、圏域の就労支援の底上げができた成果の賜物であり、且つ、学生の若い力を借りながら新鮮な空気の中で開催できたことは、支援者のみならず障がいのある当事者、学生にとっても良い学びとなりました。

2月14日に行いました当研究会での研修会振り返りでは、障がいを持つ親へ向けた研修の必要性。また、それに伴う個別のアセスメント勉強会の開催。そして就労移行支援事業所及び他の関係機関等を含む更なるネットワーク構築に向けた活動の必要性が出されました。

○ミニ面接会 **【別紙1：障害者ミニ面接会・障害者雇用促進セミナーの開催について】**

【参加企業数】 4社 【参加求職者6人・辞退者3名】

【開始日時】 平成28年9月28日（水）13：00～

○障害者雇用促進セミナー（企業セミナー）

【参加企業数】 38社

【開始日時】 平成28年12月6日（火）13：30～

○精神科医療機関とハローワーク連携事業 **【別紙2：平成28年度 連携モデル事業報告】**

・医療法人友愛会

事業責者 デイケアチャンス・主任看護師

コーディネーター デイケアチャンス・作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士

・上田公共職業安定所

事業責任者 専門援助部門 雇用指導官

コーディネーター 就職支援コーディネーター・精神障害者雇用トータルサポーター

○第1回開催状況

申込者 8名 受講者 7名 修了者 7名 就職者 4名

○第2回開催状況

申込者 11名 受講者 9名 修了者 7名 就職見込み者 1名（H29.2.21現在）

課題

受講が的確と思われる方が千曲荘病院以外を受診しているケースが大半

対応策

8月3日に長野県精神保健福祉センターとの懇談を実施

病院のデイサービスを利用し、実施している事業である為、福祉医療の受給者証の発行（原則1病院1薬局）の問題から受講を希望しても利用できない方がいることを説明。センターより県の担当部局に本事業受講者に限り特例を設けていただくことの申し入れについて依頼、了承していただく。但し、年度途中の変更は難しい為来年度当初の目処とする。

良い点

病院に多大なる協力をいただき説明を行っており、今までのハローワーク・SHAKEの説明より企業の認識が変わってきている。